



研究用試薬

## ヒストファイン

第一抗体

抗 CDX-2 ウサギモノクローナル抗体(AT用)

(動物種：ウサギ)

包装： 50 テスト(6.5mL)

Code： AT1801-1

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地 6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。

■特異性および抗原分布：ヒト CDX2(caudal-related homeodomain protein 2)タンパク質と特異的に反応する。CDX2 遺伝子<sup>1)</sup>は、Homeobox gene family のひとつであり、転写因子機能を有し、主に、腸粘膜の発達と維持に関与している。正常では、腸管上皮(十二指腸～直腸)の核に発現がみられる。腫瘍では、大腸腺癌<sup>3),7),15)</sup>、十二指腸腺腫、胃腺癌<sup>2),5),11)</sup>、食道腺癌、卵巣粘液性腺癌等<sup>8),9),10)</sup>で高い頻度で発現がみられる<sup>6)</sup>。膵腺癌、胆管癌、胆嚢癌、カルチノイド<sup>14),16)</sup>でも発現がみられ、頻度は低い。肺非小細胞癌<sup>6)</sup>でもみられる場合がある。肝細胞癌、非粘液性卵巣癌、膀胱移行上皮癌、扁平上皮癌、肺腺癌<sup>4),13)</sup>、肺小細胞癌等ではみられない<sup>6)</sup>。

注) 組織の固定状態等により、肝細胞の細胞質に染色所見(弱から中程度の強度)がみられる場合がある。

■クローン名：EPR2764Y

■抗体のサブクラス：ウサギ IgG

■免疫原：ヒト CDX-2 の N 末端近くの残基に対応する合成ペプチド

■製法：培養上清から得ている。

## 1. 内容

第一抗体・・・抗 CDX-2ウサギモノクローナル抗体(動物種：ウサギ)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と 0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1 バイアル中に 6.5mL を含む。

## 2. 使用目的

組織・細胞中のヒト CDX-2 の染色。

## 3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

## 4. 染色方法の設定

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
CDX2-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	CDX2-AT	20	25

■参考：組織の固定状況等により、第一抗体の反応時間(分)を「30」(分)、第一抗体の反応温度(℃)を「37」(℃)に変更することで良好な染色が得られる場合がある。(裏面参照)

## 5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。

2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。

3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。

4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

## 6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

## 7. 参考文献

- (1) F. Drummond, et al : Ann. Hum. Genet. 61 : 393-400, 1997
- (2) Seno H, et al : Int J Oncol. 21(4) : 769-774, 2002
- (3) Moskaluk CA, et al : Mod Pathol 16(9) : 913-919, 2003
- (4) Barbareschi M, et al : Am J Surg Pathol. 27(2) : 141-149, 2003
- (5) Mizoshita T, et al : J Cancer Res Clin Oncol. 129(12) : 727-734, 2003
- (6) Robert W. Werling, et al : Am J Surg Pathol. 27(3) : 303-310, 2003
- (7) Saad RS, et al : Cancer. 25;102(3) : 168-173, 2004
- (8) Raspollini MR, et al : Appl Immunohistochem Mol Morphol. 12(2) : 127-131, 2004
- (9) Kim MJ. : J Korean Med Sci. 20(4) : 643-648, 2005
- (10) Mazziotta RM, et al : Appl Immunohistochem Mol Morphol. 13(1) : 55-60, 2005
- (11) Fan Z, et al : Clin Cancer Res. 11(17) : 6162-6170, 2005
- (12) José A Ortiz-Rey, et al : Appl Immunohistochem Mol Morphol. 13(2) : 142-146, 2005
- (13) Levine PH, et al : Diagn Cytopathol. 34(3) : 191-195, 2006
- (14) Jaffee IM., et al : Arch Pathol Lab Med 130 : 1522-1526, 2006
- (15) Tanaka S, et al : Oncol Rep. 18(1) : 87-92, 2007
- (16) Lin X, et al : Appl Immunohistochem Mol Morphol. 15(4) : 407-414 : 2007

### ■ 研究用としてのみ使用すること。

■参考：第一抗体の反応時間(分)を「30」(分)、第一抗体の反応温度(℃)を「37」(℃)に変更する場合(おもて面の ■参考 参照)、以下に設定してください。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
CDX2-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	CDX2-AT	30	37